

会 議 録

会議名	令和5年度 第3回田名地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 田名まちづくりセンター 電話042-761-0056 (直通)		
開催日時	令和5年7月11日(火) 19時00分～20時20分		
開催場所	田名公民館 大会議室		
出席者	委員	12人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	2人(田名まちづくりセンター所長、地域政策担当)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 子どもを対象とした事業(イベント)について (2) 田名地区における「移動支援」の取組について (3) その他 4 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(◎は会長の発言、○は委員の発言、■は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ (代田会長)

3 議題

委員の出席状況から次のとおりグループ編成をした。

※敬称略

【A班】

大谷 政道 (田名公民館)
田所 昌訓 (田名財産管理委員会)
志村 勝美 (公共交通整備促進協議会)
木下 英雄 (青少年健全育成協議会)
矢口 君代 (田名地域包括支援センター)

【B班】

花房 博文 (自治会連合会)
藤橋 和代 (連合婦人会)
田所 恒男 (社会福祉協議会)
田所 直久 (民生児童委員協議会)
神澤 優子 (民生児童委員協議会)
大谷 靖臣 (防犯協会)

(1) 子どもを対象とした事業 (イベント) について

ア 相模田名民家資料館 (田名財産管理委員会)

前回に引き続き、相模田名民家資料館を活用したイベントについて話し合った。田所 (昌) 委員 (田名財産管理委員会) から、田名カルタ会が田名の歴史等を伝えるカルタを作成しており、そのカルタを活用してとにかく1回イベントを開催できたらと思っていること、子どもが集まるようカルタ遊びと組み合わせて実施できる催しのアイデアが欲しいことの補足説明があった。主な意見は次のとおりである。

(各班の主な意見等)

【A班】

- カルタ遊びを田名北小でやった時には児童に好評であった。歴史カルタは遊びを通じて田名の事を知ってもらえる。
- 学校でのカルタ遊びは授業の一環であるため、カルタ遊びだけで子どもを呼べるか疑問である。
- 公民館こどもまつりでも子どもを呼ぶのに苦戦しており、公民館の他の事業に参加してくれた子に直接声掛けして参加を促している。

- 紙飛行機飛ばしが面白い。町田で紙飛行機を教えてくれる団体があって以前公民館でセミナーをやったことがある。
- ポン菓子やかき氷の飲食はどうか。
- カルタ競技会が良い。カルタと言えば年末年始というイメージがある。競技会の開催当初は人が集まらなくても、回数を重ねたり、優勝者の記録を民家資料館に飾ったりして継続していけば、徐々に認知されていくのではないか。

【B班】

- カルタは分かりやすいし、地域の説明にもなる。
- カルタに参加してくれた子に駄菓子を選んでもらえるようにしたらどうか。
- 紙飛行機、缶バッジ製作も一緒にできる。
- 青パトの乗車体験や展示、パトカー、白バイの展示もどうか。
- 何か開催してみて、参加してくれた子の要望を聞いて次を考えれば良い。

イ 田名っ子フェスティバル（田名小学校PTA）

詳細が未定のため、意見交換なし。

ウ 田名北ふれあい広場（田名北小学校PTA）

田名北小学校PTAから田名地区まちづくり会議に対してイベント協力依頼があり、まちづくり会議としては「移動動物園」「eスポーツ」のブース出展する方向で準備し、9月定例会で交付金申請に係る意見聴取をすることになった。

（2）田名地区における「移動支援」の取組について

田名地域包括支援センターの矢口委員からセンターに寄せられる相談事例を紹介していただき、「移動支援」について、前回に引き続き話し合った。主な意見は次のとおりである。

（相談事例）

相談の多くは買い物と通院である。

介護保険サービスを利用して買い物をお願いする場合、要支援者が一緒に行くことはできないため、自分で選ぶことができなくなってしまう。自身で何とか歩ける方は自分の目で見て買物がしたいという希望があり、その方々に対して何かしらの支援が必要である。タクシーを利用して買い物に行く方もいるが、毎回タクシー代を自己負担して買い物をするというのは大変であり困っているという相談がある。

透析を週3回している方は必ず通院しなければならない。送迎のない医療機関の

場合、自力で通院できずに介護タクシーを利用すると、経済的に大きな負担となり困っているという相談がある。

公民館で行う事業について言えば、葛輪や塩田の方は移動手段の都合により参加できないことがある。さらには、公民館まで来てもらうのではなく、包括支援センターが各地区の自治会館に出張して事業を行うこともあるが、その自治会館まで出ていくことすら難しい方もいる。

(各班の主な意見等)

【A班】

- 往復タクシー代6000円を払って協同病院まで通院している者がいる。公共交通機関を利用すると田名バスターミナルからだとも1日1往復、電車を利用すると遠回りで乗り換え等が大変だし時間がかかる。
- 市のタクシー利用助成制度では、身体障害者手帳1級の者など対象が限定されている。
- 若い世代であればインターネットで買い物もできるだろうが、高齢者は難しいと思う。そもそもインターネットへの接続環境から整えなければならない者もいるし、買い物サイトでの注文方法も分からない。
- 田名地区では現在事業者はないが、訪問診療を利用する方が増えている。自力で通院できない人が対象である。
- 若い世代は移動に対して不便さを感じていない。高齢者でも自力で移動が困難な者であれば介護保険等による支援、経済的な助成制度がある。一方で何とか自力で移動できる高齢者には何もないため、この層を意識した支援を検討する必要がある。

【B班】

- 将来を見据えて買い物支援などの移動支援の仕組みを作っていく必要がある。例えば、他地区には高齢者施設の送迎者を利用している例がある。
- 地域住民が送迎の運転に従事した場合、事故を起こした時には運転手の責任となってしまう。
- 課題等もあると思うので他地区の事例を聞いた方が良い。
- 買い物支援に加えて外出支援も必要ではないか。移動販売を行っても、その販売場所まで移動することへの支援も必要である。
- どのような手段があるのか勉強していきたい。

※高齢者移動支援推進モデル事業成果報告会（令和5年3月22日開催）資料を参

考に配布し、市内における外出支援事例を次回会議で確認することにした。

(4) その他

次回会議は、8月定例会を開催せず、9月12日(火)19時からとする。

4 閉会(花房副会長)

以上

令和5年度 第3回田名地区まちづくり会議委員名簿（敬称略）

令和5年7月11日

	団体名	団体役職	氏名	備考	出欠
1	田名地区自治会連合会	会長	代田 修	会長	○
2		副会長	花房 博文	副会長	○
3		副会長	安部 和博	理事	
4	田名自治会連合婦人会	副会長	藤橋 和代		○
5	田名公民館	館長	大谷 政道	副会長	○
6	田名地区社会福祉協議会	会長	田所 恒男	理事	○
7	田名地区民生委員児童委員協議会	会長	田所 直久	理事	○
8		民生委員児童委員	神澤 優子		○
9	田名財産管理委員会	会長	田所 昌訓		○
10	田名地区公共交通整備促進協議会	顧問	志村 勝美		○
11	田名地区防犯協会	会長	大谷 靖臣		○
12	田名地区青少年健全育成協議会	副会長	木下 英雄		○
13	田名小学校PTA	会長	平井 佑介		
14	田名地区老人クラブ連合会	会長	小島 昭二		
15	J A相模原市田名支店運営委員会	市農協理事	大谷 京子		
16	田名地区ボランティアグループ	代表（市食生活改善推進団体）	浅見 泰子		
17	田名地域包括支援センター	センター長	矢口 君代		○
18	有識者				

出席（○） 12

欠席（ ） 5

合計 17